



# Kobe INK物語 Color Map



**No.61 雪御所ザクラ**  
美しい響きの「雪御所町(ゆきのごしよちょう)」は、平清盛公の別邸 雪御所があった歴史ある地で、その跡地周辺の川沿いに咲き誇る桜並木は、感動を覚えるほどの躍動感に満ちています。雷から徐々に開く桜のように、濃淡が文字に美しい表情を紡ぎだす桜色を表現しました。

**No.62 布引ラベンダー**  
初夏に見頃を迎えるラベンダーの心地よい香りが漂う布引ハーブ園での贅沢なひと時を想像しながら万年筆ライフをお楽しみいただけるラベンダー色をKobe INK物語に加えしました。この色で綴る手紙は爽やかな香りと風を運んでくれます。

**No.63 東遊園地 トーチオレンジ**  
市街中心地にある東遊園地は国内初の西洋式公園で、現在は震災復興と慰霊の想いを込めたモニュメントが置かれた市民憩いの地となっています。この「トーチオレンジ」は神戸の美しい自然を背景にとり「希望の灯り」の暖かみのあるオレンジを表現しました。

**No.64 住吉山手 ジェイドグリーン**  
世界的価値のある美術品が多数収蔵された白鶴美術館は、建物自体が昭和の名建築とされ翡翠色の屋根と入口の鉄扉が印象的です。この「ジェイドグリーン」は味わい深い繊細な緑をインク色で表現しました。

**No.65 新港ジェットブラック**  
各国の客船が入港する新港第4突堤は国際港の名にふさわしい多様な設備を整えた大型ターミナル。その港のイメージを代表的な豪華客船の塗装に使われている漆黒で表現しました。

**No.66 西神コバルトスカイ**  
神戸のベッドタウン、西神(せいしん)近くの押部谷にある「神戸ワイナリー農薬公園」は神戸ワイン用の葡萄の栽培地です。その葡萄園上空の太陽光溢れる澄み切った青空を表現しました。

**No.67 淡河ファームグリーン**  
六甲山の北側にある淡河(おうご)は、四季折々の自然に囲まれた広大な農作物の宝庫エリアとして、神戸の食文化を支えています。自然に育まれた農作物の輝くようなグリーンをKobe INK物語に加えしました。

**No.68 西舞子パールブルー**  
神戸の風光明媚な地区にある西舞子からは、大きく羽根を広げたような姿の明石海峡大橋が望めます。「パールブリッジ」の愛称で親しまれ、神戸と淡路島を結ぶ世界最長の雄大な吊り橋のイメージを、グレーを帯びたブルーで表現しました。

**No.69 菊水ピオトープ**  
兵庫区にある菊水公園は一角がピオトープとして整備され、地域の憩いの場やホテルの飼育場として地域住民に愛されています。この自然生態系が感じられる貴重なエリアで育まれる植物がせせらぎに映る色を淡みのあるイエローグリーンで表現しました。

**No.70 六甲フォレストブルー**  
神戸森林植物園には、美しい水面の長谷池が静かに六甲の四季を映しており、梅雨から初夏にかけて睡蓮の花が見ごろとなる季節には、森の優しい光と青空に反射した水面が、まるでモネの名画のように感じられます。その光景を包みこむような優しく深みあるブルーで表現しました。

**No.71 生田川サクラ**  
神戸の玄関口、新神戸駅南エリアにある桜の名所「生田川公園」は、上流に布引の滝などの名勝を抱く生田川沿いにあり、その沿道の桜は「ぬのびき花街道」と呼ばれ愛されています。春の訪れを市民に告げる爽やかな風とほのり優しいサクラ色が描く神戸の街の魅力を感じてください。

**No.72 千島ウォーターブルー**  
神戸市の北限「道場町」には大正8年竣工の市内最大の千島貯水池と千島ダムが存在します。美しい自然の中で清らかな神戸ウォーターを育むこのダムが放流時に描く水の芸術は、「糸の宝石」ポビレンスを彷彿とさせる細やかなで壮大な作品です。その良質な水を繊細な水色で表現しました。

**No.73 兵庫津ヒストリーブルー**  
平安時代から近年まで海上交通の要衝として繁栄した兵庫津は、今なお古今多数の遺構が存在し、北前船寄港地として日本遺産にも登録されています。また果名「兵庫」の名は初代県庁所在地でもある兵庫津の名から採られたとも言われています。神戸の歴史を紐解く始まりの地にふさわしい兵庫津の奥深い青を表現しました。

**No.74 名谷コスモスレッド**  
ユニバー記念競技場に広がる「コスモスの丘」は、遠くに明石海峡大橋も望める市民の憩いの場です。中でも、初秋コスモスが丘一面に描く鮮やかな色彩と風に揺られる光景は、時間を忘れて見入ってしまうほどです。そのコスモス群の中から、最も印象的な深紅の大輪「センセーション」の色彩を表現しました。

**No.75 東川崎ハーバーミント**  
神戸ハーバーランドの遊歩道にある旧神戸港信号所は、現存する神戸港最古の信号所として大切に移築保存された建造物です。今ではフォトスポットや市民の憩いの場として神戸港にふさわしいランドマークの一つとして市民に愛されています。海と空に映える信号所のミントグリーン色をグレー味あるミントカラーで表現しました。

**No.76 再度山パークツリー**  
神戸の中心地から車で約20分の近郊にある「再度公園」。その園内には神戸外国人墓地や六甲山植林発祥の地などがあり、平成19年には国の名勝に指定されるなど歴史的にも近代神戸の魅力語る重要な場所の一つです。園内の豊かな木々に包まれるイメージを、落ち着きと深みのあるグリーンで表現しました。

**No.77 六甲ヒマヤンブルー**  
六甲山頂近くの六甲高山植物園において、初夏に咲き誇る透き通った青の花弁と黄色の雄しべのコントラストが美しい希少な「ヒマラヤの青いケシ」こと「ヒマヤンブルーポピー」。遠くヒマラヤを原産地とするこの花は、自然が生み出したもとも魅力的な色の一つと言えます。この可憐で印象的なブルーを濃淡が美しいインクで表現しました。

**No.78 六甲アルプスピンク**  
自然の宝庫 六甲高山植物園において初夏に咲くコマクサは、北アルプス以北を原産地とする厳しい環境の高山で生育することから「高山植物の女王」とも呼ばれ、凛とした姿が美しい花です。その孤高の美しさを、艶やかさの中に落ち着きあるピンクで表現しました。花言葉「誇り」「気高い心」

**No.79 多聞カキツバタ**  
神戸を代表する花の名所のひとつとして知られる垂水の吉祥山多聞寺は、平安時代 慈覚大師により開かれたとされる由緒あるお寺で、その境内にある弁天池の3000株近いカキツバタは慈覚大師が中国より持ち帰り植えたのが始まりと伝わっています。神戸の街に古くより伝わる美しく優美な色を、安らぎが感じられるライトパープルで表現しました。

**No.80 六甲高山クリンソウ**  
六甲山頂近くの六甲高山植物園に咲くクリンソウは1本の茎に花が輪状に重なり合って咲く様子が仏塔の九輪に似ていることからその名がつけられたと言われており、見ごろとなる5月中旬頃には約5000株が一面をピンクに染める様子は、神戸の初夏の風景として市民に愛されています。そのクリンソウが咲き誇る鮮やかでかわいらしい姿を落ち着きと華やかさのあるピンクで表現しました。

**No.81 深江アーバンブルー**  
江戸時代に「深い入り江」の漁村だったことから名付けられたこの土地は、西国浜街道と有馬へと向かう魚屋道(とやみち)が交差する交通の要衝でもありました。その歴史と近年の阪神間モダニズム時代の近代建築物から感じられる過去から未来へと繋がるライフスタイルを美しいブルーで表現しました。

**No.82 摩耶海岸アップルグリーン**  
多くの文化施設が集まるミュージアムロードの南端に位置する兵庫県立美術館には、著名な建築家のデザインによるオブジェ「青りんご」が設置されています。青春のシンボル、心のありようを表現したこの青りんごに込められた想いは、市民に憩いと明日への希望を与えています。

**No.83 鯉川イバイエロー**  
1908(明治41)年ブラジルのコーヒー園を目指す移民船が神戸港から出港したのを始めとして、1971(昭和46)年まで多くの移民が旅立ちました。その縁としてブラジルの国木「イベ」が鯉川筋に植えられ、春には美しい黄色の花を咲かせています。最初の移民の出港より110余年。日系社会を通じて日本とブラジルの交流は続いています。

**No.84 山本通エキゾチックグリーン**  
神戸北野の山本地区は、開港以来外国人と日本人がともに暮らした「雑居地」として発展したことから、洋風建築と和風建築が混在する独自の街並みを形成してきました。その山本地区の個性的な建物に見られる、深みの中にも艶を感じられる上品なグリーンを表現しました。

**No.85 舞子プロムナードブルー**  
神戸の中でも海との距離が近く、淡路島と明石海峡を望む景勝地として多くの人々に愛され、明治から昭和にかけては、時代の先駆けとなる建物や公園がつくられた舞子の地。その景色の中で壮大にたたく明石海峡大橋に開設された舞子海上プロムナードから眺める景色は、太陽の日差しと相まって輝くような青を基調とした世界を描き出しています。

**No.86 加納町シャドウグレー**  
神戸市の中心路フラワーロードに沿って広がる加納町は、神戸の玄関口 新神戸駅から三宮駅、市役所、そして旧海岸線の神戸税関前まで南北に細長く広がる地区となっています。地区内には文化施設も多く、その建物に使われている素材にやわらかな光と影が生まれる色合いを、落ち着いた味わい深いグレーで表現しました。

## コラボレーションインク

× felissimo chocolate museum bitter chocolate  
大人になったからこそ楽しめる苦さと甘さの程よいバランスのビターチョコレート。あこがれの人やおしゃれな人、深い尊敬の気持ちを伝えることができるように。こだわりのダークブラウン色に仕上げました。

× felissimo chocolate museum milk chocolate  
まろやかでほっとするいつもやさしい味のミルクチョコレート。身近な人や、心やさしいあの人に、日ごろの感謝の気持ちを伝えることができるように。やわらかくて心地よいライトブラウン色に仕上げました。

× felissimo chocolate museum strawberry chocolate  
色合いもかわいく、甘酸っぱさが弾けるようなストロベリーチョコレート。大切な人や、親しいあの人に、素直で大好きな気持ちを伝えることができるように。甘過ぎない愛らしいライトピンク色に仕上げました。

× átoa SKY SHORE 空辺の庭  
潮風と眩い陽射しの下、神戸港の景観のなかで生きもの息遣いを感じる、水と緑の開放的な空間です。水面の揺めきと青空をイメージした、スッキリと爽やかな水色です。

× átoa ELEMENTS 精霊の森  
ELEMENTSは精霊の森、霧が立ち込め木漏れ日が降り注ぐ源流の森。幻想的でお伽噺のような世界です。樹木と水の気配、森の息吹や緑の深さを感じるグリーンです。

× átoa PLANETS 奇跡の惑星  
ここは宇宙か、深海か。球体水槽を中心に無数の星とレーザーが織り成す光のペールが包み込みます。暗闇と光の空間をイメージし、グレイッシュで深みのある紫色で表現しています。

Color swatches for 100 different INK colors, each with a corresponding jar of paint. The colors include various shades of blue, green, red, yellow, and grey, representing the 'Kobe INK' collection.

